

民児協だより

No.148

令和4年3月15日発行



— 支えあう 住みよい社会 地域から —



まなざし

この2年間、民生委員・児童委員活動の縮小を余儀なくされた時期もありましたが、高齢者や障がいのある人、ひとり親家庭などを身近で見守り、ほどけない結び目をつくる活動を行ってきました。

ある地区はこのような時期だからこそ民生委員・児童委員本来の役割に立ち返り、多岐にわたる業務に優先順位をつけ、「住民の現状を必要

「こんにちは！」笑顔の先には住民の方が待っています。

に応じて適切に把握すること」を最も大事にしました。

また、地域住民の顔を見ることが出来る戸別訪問こそ「短時間でも貴重な時間」と大切に捉えている民生委員・児童委員もいます。

民生委員・児童委員としての本来活動を大切に、朗らかな笑顔で今日も活動を続けています。

(厚木市民生委員児童委員協議会)

- 特集 令和3年度受章(賞)者紹介～おめでとうございます～
- 活動研究レポート 一人ひとりの想いを大切に民児協運営
- ひとネットワーク 知ってほしい「ダブルケア」のこと 一般社団法人ダブルケアサポート
- News&インフォメーション ●通信員だより(小田原市・座間市・二宮町)



令和3年度受章(賞)者紹介

◆春の叙勲(4月29日付)

【瑞宝双光章】

〔藤沢市・元〕浅野朝子

〔海老名市・元〕加藤彰久

◆秋の褒章(11月3日付)

【藍綬褒章】

〔横須賀市〕岩田勝江

◆厚生労働大臣表彰(11月19日付)

【民生委員・児童委員功労者】

〔藤沢市〕末吉育子

〔茅ヶ崎市〕木村はな子

〔大和市〕青木恵美子

〔伊勢原市〕宮崎八重子

◆全国社会福祉協議会会長表彰(11月19日付)

〔横須賀市〕鈴木佐智子

〔平塚市〕橋本勢作

〔藤沢市〕大山睦子 森もと江

〔茅ヶ崎市〕藤原絹代

〔厚木市〕小泉京子 竹原由美恵

〔座間市〕阿部正信

◆全国民生委員児童委員連合会会長表彰(10月26日付)※推薦名簿順

【優良民生委員児童委員協議会表彰】

座間市第一地区民児協

【民生委員・児童委員功労者】

〔平塚市〕小泉恵子 金剛昭枝

〔鎌倉市〕大塚眞理子

〔綾瀬市〕安藤要子 栗原芳子

【永年勤続民生委員・児童委員表彰】

〔横須賀市〕青池禮子 赤堀八重子

熱田千津子 安藤正和 飯山糸子

池田敏明 井上道英 今府文子

小川義秋 小野みゆき 角田アイ子

加藤和夫 角尾弘美 菊池和代

君島富美江 栗原恵子 小杉啓恵

小林ケイ子 塩田芳一 嶋口司

島崎克尚 杉田和子 鈴木和子

反田知子 高野悦子 高橋みどり

千品祥江 恒本博子 貫信子

根本智 野島恵里子 引本昇

菱沼美代子 藤田美子 藤田由美子

堀田豊 牧野恒一 松崎由美子

松本幸子 八木橋和代 谷島順子

安廣幸徳 山本ハツ子 吉田尚子

渡辺富美子

〔平塚市〕雨宮恵子 飯田征子

岩井良男 及川洋子 大川綾子

大貫かおる 勝矢加代子

小島美代子 小宮巳代子

小山恵子 金陽二 齋藤靖彦

坂間倭文子 佐草恭造 澤野啓子

志知美恵子 高田哲也 中村克彦

原田栄子 原田美奈子 三崎初枝

水澤幸子 吉澤さとみ

〔鎌倉市〕椎野和子 星野茂

〔藤沢市〕青木邦子 阿部宏之

石井國喜 市川幸子 井上京子

白井照代 大島陽子 尾方典子

長田勝彦 小野弘子 桐山完爾

桂島登里子 古賀宏子 小林美幸

小松田悦子 近藤洋 齋藤勝吉

齊藤富士雄 坂田千鶴代 阪間晴美

鈴木芳枝 堤忠生 角田吉弘

鐵英子 中尾和子 長嶋勇

中原優貴恵 丹羽恵子 野谷起代美

長谷川三郎 畠山友一 林雄二

晴佐久ちえ子 平尾文子 平松直子

弘光奈奈 福岡久美子 松井聡子

松尾良子 松守由美子 丸加代美

山岡隆 山口敏 山口幸江

山崎幸子 横山恵子 吉田昌弘

吉原豊

〔小田原市〕朝見美子 岩沢好子

岡田健 折金典男 片瀬清 岸治恵

小泉美智代 高野博幸 高橋美智子

田中里美 濱寄政廣 邊見直美

星野優子 堀川清子 柳井由美子

山岸勝 若林とも子

〔茅ヶ崎市〕安達由江 小澤雅子

寛智子 小出京子 小嶋政雄

齋藤和江 澄川篤 中村節子

沼上純子 平山高子 三浦常生

毛利和夫

〔逗子市〕産形喜江 近藤美千子

曾志光子 高橋玲子 塚野晴美

新倉昭治

〔三浦市〕池田美和子 鎌田豊子

窪田智江子 原薫 安田正代

山崎幸夫 米田ふさ子 脇谷和之

〔秦野市〕飯田充 石岡初代

大森よしみ 小澤みつ江 川口昭平

古宮伸次 柴山賢一 添野幹子

水流嘉津子 西川邦子

〔厚木市〕青島徳尚 石澤ふじ枝

今溝義公 江良景子 大塚繁

小川千鶴子 加藤修 加藤豊子

工藤かおり 中村治良 溝呂木宏子

三橋三郎 柳沢香緒里 柳田敬子

山田くみ子 若林紀美枝

〔大和市〕井上由美子 金子道子

小林圭子 佐藤美幸 杉山洋子

鈴木清雄 鈴木敏子 關口秀人

瀧村ゆかり 田中かほる 田辺スエ子

筒井磨千子 中川潔 長谷川厚子

原けい子 半田淑美 眞屋和子

村上和子 八島光子 山形妙子

横山富子 鷲田義宏

〔伊勢原市〕青柳嘉男 石橋弘子

犬飼規喜 熊谷吉祥 佐藤恵子

柴泰一 田中祐二

〔海老名市〕大貫節子 桐生行雄

佐藤敦子 綱島則子 久田妙子

米山珠枝

〔座間市〕小野口勇 杉山朋子

土橋キヨ子

〔南足柄市〕井出晴明 伊藤義孝

岩崎典子 高木早苗 吉田克業

〔綾瀬市〕石塚歌子 小川くに子

川内勝 川島正夫 神崎陽子

黒澤宏美 小関容子 曾根壽勝

武智正志 橋本則子 峯尾始

森谷克

〔愛川町〕足立原順子 齋藤きよみ

澤村早百合 本多照美

〔清川村〕迫田つた子 平田京子

〔葉山町〕綾部芳子 荒井武男

遠藤和江 柿崎光子 具志堅勝

小宮和子 矢村宗克

〔寒川町〕池田征子 梅澤久美子

金子明 吉川京子 鈴木弘子

森下明美 山村玉恵

〔大磯町〕坂本きみえ 土屋隆夫

眞間芳雅 安池幸子

〔二宮町〕足立眞理子 井上太郎

小林照子

〔大井町〕大沢栄 安池千鶴子

山田佑子

〔松田町〕荻野一美 早崎昭代

吉崎なつき

〔山北町〕石田初江 瀬戸和江

能澤武男

〔開成町〕山本勝

〔箱根町〕勝俣達夫 勝俣直子

武石恵美子

〔湯河原町〕石田眞理子 上野知江子

金子信一 木村千鶴子 福井静子

布施谷日出一 古本一徳

◆県民功労者表彰(6月16日付)

〔社会福祉分野〕

- 〔横須賀市〕 鈴木佐智子
- 〔平塚市〕 岩崎悦子
- 〔藤沢市〕 石井康子
- 〔大和市〕 村瀬てる代
- 〔座間市〕 橋本禎子

◆神奈川県知事表彰(10月15日付)

- 〔民生委員 児童委員 永年勤続表彰(在職30年)〕
- 〔藤沢市〕 三浦絹子
- 〔民生委員 児童委員 永年勤続表彰(在職15年)〕
- 〔藤沢市〕 齊藤富士雄
- 〔座間市〕 本多啓子
- 〔共同募金運動功労者表彰(個人)〕
- 〔藤沢市〕 三賢忠
- 〔小田原市〕 岩田隆一

◆神奈川県社会福祉協議会会長表彰

- (11月15日付) ※受賞名簿順
- 〔永年勤続功労者(勤続10年以上)〕
- 〔横須賀市〕 青池禮子 赤堀八重子
- 熱田千津子 安藤正和 飯山糸子
- 池田敏明 井上道英 今府文子
- 小川義秋 小野みゆき 角田アイ子
- 加藤和夫 角尾弘美 川村和子
- 菊池和代 君島富美江 栗原恵子
- 小杉啓恵 佐々木浩江 塩田芳一
- 嶋口司 鳥崎克尚 杉田和子
- 鈴木和子 反田知子 高野悦子
- 千品祥江 恒本博子 貫信子
- 根本智 野島恵里子 早川進
- 引本昇 菱沼美代子 藤田美子
- 堀田豊 本間健一 牧野恒一
- 松崎由美子 松本幸子 八木橋和代
- 谷島順子 安廣幸徳 山本ハツ子
- 吉田尚子 渡辺富美子
- 〔平塚市〕 雨宮恵子 飯田征子
- 岩井良男 及川洋子 大川綾子
- 大貫かおる 勝矢加代子 小梶宏子
- 小島美代子 小宮巳代子 小山恵子

金陽二 齋藤靖彦 坂間倭文子

- 佐草恭造 澤野啓子 志知美恵子
- 高田哲也 中村克彦 原田栄子
- 原田美奈子 樋口マキ子 三崎初枝
- 水澤幸子 吉澤さとみ
- 〔鎌倉市〕 青木ひろみ 浅見香世子
- 天野美代子 石井理恵 伊勢久美子
- 市川悦子 大窪名生子 小林誠
- 佐藤千津 白濱弥生 田村洋子
- 角田恭子 中村美重子 中村よしみ
- 花村博子 松尾俊一 宮田進
- 村田由美子 矢澤智美 矢澤昌之
- 〔藤沢市〕 青木邦子 阿部宏之
- 石井國喜 市川幸子 井上京子
- 白井照代 大島陽子 尾方典子
- 長田勝彦 小野弘子 桐山完爾
- 桂島登里子 古賀宏子 小林美幸
- 小松田悦子 近藤洋 齋藤勝吉
- 坂田千鶴代 阪間晴美 堤忠生
- 角田吉弘 鐵英子 豊島洋
- 中尾和子 長嶋勇 中原優貴恵
- 丹羽恵子 野谷起代美 長谷川三郎
- 島山友一 林雄二 晴佐久ちえ子
- 平尾文子 平松直子 弘光奈奈
- 福岡久美子 松井聡子 松尾良子
- 松守由美子 丸加代美 森谷真智子
- 山岡隆 山口敏 山口幸江
- 山崎幸子 横山恵子 吉田昌弘
- 吉原豊

〔小田原市〕 朝見美子 岩沢好子

- 内田理佐 岡田健 折金典男
- 片瀬清 岸治恵 小泉美智代
- 小林財子 高野博幸 高橋美智子
- 田中里美 濱寄政廣 邊見直美
- 星野優子 堀川清子 眞壁洋善
- 山岸勝 山口亘子 若林とも子
- 〔茅ヶ崎市〕 安達由江 小澤雅子
- 寛智子 小出京子 小嶋政雄
- 齋藤和江 佐藤三沙子 澄川篤
- 中村節子 沼上純子 平山高子
- 三浦常生 毛利和夫 和賀始

〔逗子市〕 産形喜江 近藤美千子

- 曾志光子 高橋玲子 新倉昭治
- 松岡蓉子
- 〔三浦市〕 池田美和子 鎌田豊子
- 窪田智江子 原薫 安田正代
- 山崎幸夫 米田ふさ子 脇谷和之
- 〔秦野市〕 飯田充 石岡初代
- 猪股登美子 大塚直子 大森よしみ
- 小澤みつ江 川口昭平 岸康子
- 古宮伸次 柴山賢一 鈴木清
- 添野幹子 高橋正行 田村正一
- 西川邦子 三村正子 湯川明子
- 〔厚木市〕 青島徳尚 石澤ふじ枝
- 今溝義公 江良景子 大塚繁
- 小川千鶴子 加藤修 加藤豊子
- 工藤かおり 中村治良 溝呂木宏子
- 三橋三郎 柳沢香緒里 柳田敬子
- 山田くみ子 若林紀美枝
- 〔大和市〕 井上由美子 金子道子
- 小林圭子 小林弘子 佐藤美幸
- 杉山洋子 鈴木清雄 鈴木敏子
- 關口秀人 瀧村ゆかり 田中かほる
- 田辺スエ子 筒井磨千子 中川潔
- 長谷川厚子 原けい子 半田淑美
- 眞屋和子 村上和子 八島光子
- 山形妙子 横山富子 吉田恵子
- 鷺田義宏
- 〔伊勢原市〕 青柳嘉男 石橋弘子
- 犬飼規喜 熊谷吉祥 佐藤恵子
- 柴泰一 田中祐二
- 〔海老名市〕 大貫節子 北島富喜子
- 桐生行雄 佐藤敦子 綱島則子
- 久田妙子 米山珠枝
- 〔座間市〕 宇野美知子 小野口勇
- 清水春男 杉山朋子 土橋キヨ子
- 〔南足柄市〕 井出晴明 伊藤義孝
- 岩崎典子 住田英臣 高木早苗
- 吉田克業
- 〔綾瀬市〕 石塚歌子 小川くに子
- 川内勝 川島正夫 神崎陽子
- 黒澤宏美 小関容子 曾根壽勝

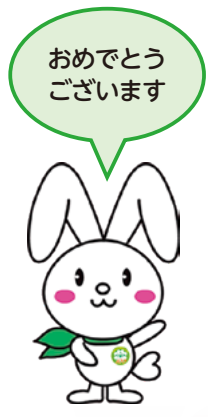
武智正志 橋本則子 峯尾始

- 森谷克
- 〔愛川町〕 足立原順子 齋藤きよみ
- 澤村早百合 本多照美
- 〔清川村〕 迫田つた子 平田京子
- 〔葉山町〕 綾部芳子 荒井武男
- 遠藤和江 柿崎光子 具志堅勝
- 矢村宗克
- 〔寒川町〕 池田征子 梅澤久美子
- 金子明 鈴木弘子 森下明美
- 山村玉恵
- 〔大井町〕 大沢栄 安池千鶴子
- 山田佑子
- 〔山北町〕 石田初江 瀬戸和江
- 能澤武男
- 〔開成町〕 山本勝
- 〔箱根町〕 勝俣達夫 勝俣直子
- 武石恵美子
- 〔湯河原町〕 石田眞理子 上野知江子
- 木村千鶴子 新田守 福井静子
- 布施谷日出一 古本一徳

◆神奈川県共同募金会会長感謝

- (11月15日付)
- 〔神奈川県共同募金会会長感謝(個人)〕
- 〔平塚市〕 和田守兄
- 〔藤沢市〕 山崎たか子
- 〔小田原市〕 宮本純
- 〔松田町〕 吉崎なつき

※敬称略。原則同一市町村内は受賞名簿順に掲載。所属は受賞当時のもの。



市町村民児協発
活動研究レポート
No.47

一人ひとりの想いを
大切にしたい民児協運営

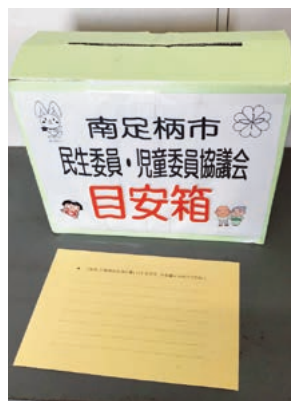


民生委員・児童委員による民生委員・児童委員のための組織である民児協。今回は、南足柄市民児協、寒川町北部地区民児協への取材から、誰もが参加してよかったと思える民児協をつくるための工夫をご紹介します。

南足柄市民児協

一人ひとりの声を届ける『目安箱』

南足柄市民児協では、新型コロナウイルスの影響により、民生委員・児童委員がお互いに顔を合わせる機会が減少し、相談ごとなどを気軽に話せなくなっていることから、定例会や委員活動をするうえで疑問に思ったことや感想などを共有できるように、令和3年5月から『目安箱』を設置しました。『目安箱』は、各地区の定例会会場の受付に設置し、委員が入退場する際に投函する仕組みです。記入用紙もありますが、様式は自由で無記名とし、これまで8件の意見がありました。投函された意見に対しては、定例会前の役員会で検討したのち、定例会で回答します。公表しづらい内容は、役員会



手作りの目安箱と記入用紙

のみで対応することもあります。一例として、部会名を「母子児童部会」から「児童部会」または「子ども部会」に、「障害者部会」をかな表記の「障がい者部会」に変更してはどうかとの意見がありました。提案理由は、「活動の中で母子児童部会の名称が入ったチラシを父子家庭にも配付するなど、活動対象が母子に限定されない」ことからです。役員会で別案も含め検討され、最終的に合同定例会で全委員の承認を得て「子ども部会」、「障がい者部会」に改名されました。そのほか、担当地域での

学校行事の出来事や災害時の支援体制についてなど多様な意見が届いています。

意見を言える環境づくりを大切に

この取り組みについて委員からも「大人数の前で意見を伝えるのは緊張するので、『目安箱』のおかげで意見が言いやすくなった。些細なことでもみんなと想いを共有できるメリットがある」と評価されています。

南足柄市民児協では、前回の一斉改選で半数以上の委員が新たに委嘱されました。南足柄市民児協の井出会長は「コロナ禍で委員同士のコミュニケーションが図れない中、疑問や提案、知りたいことなどを投函できる下地があるのは良いこと。これからもみんなの声を聞かせてほしい」と話してくれました。

自分たちの活動をよりよくする



目安箱の意見を読み上げる様子

ために考え、変えていこうとする機運につながっている様子が伝わってきました。

一人ひとりが役割を持ち
みんなで作る民児協

寒川町北部地区民児協
寒川町北部地区民児協では、定例会と研修会を一体で行っており、令和2年度から定例会の司会者と研修会の担当者を輪番制にし、「受け身ではない、全体で作りに上げていく民児協づくり」に取り組んでいます。寒川町北部地区民児協の森井会長は「一方的になりがちな定例会と研修会を一人ひとりが参加できる形にしたい」という思いがあったことから、定例会で輪番制を提案し、委員の賛同を得て、開始しました。

定例会の司会者と研修会の担当者、正副会長、部会長、会計など役割を持った委員を除き、定例会では当日の司会進行を、研修会ではテーマの企画や講師とのやりとりなどを2人1組で行います。「コロナ禍での委員活動について」「ヤングケアラー」「認知症講座」などの研修を行い、取材時は「要支援対象者地図作成」を行っていました。

人もいるのではないのでしょうか。そんな疑問を投げかけたところ「プレッシャーというマイナスのイメージで捉えがちですが、分担し

みんなが主役になる機会を



担当者が研修内容を説明する様子

みなさんに輪番制を始めて変わった点を質問したところ、委員になり15年目の山口さんは「以前は、会全体が報告を聞くだけの受身の姿勢でしたが、輪番制になってみんなが主体的となり、全体の雰囲気が変わった。質問なども活発になり、出席するのが楽しくなった」と言います。また、新任委員の栗原さんは「みんなとともに考える機会ができ、日々の活動が良く分かるようになった。関係関係への連絡も躊躇なくでき、よい勉強の場となっている」と言います。

定例会は、行政などからの伝達事項に多くの時間が割かれ、委員同士での情報交換の時間などが持たず、パターン化しがちですが、お互いに助け合う関係が築かれる中で、協働と連体制によって、民児協をつくりあげていく姿にチーム力の強さを感じました。

(広報委員)



和やかな雰囲気のもとお互いが助け合う定例会が行われていました。

てみんなが担当すると、プレッシャーが責任感に変わり、プラスのプレッシャーとして活かされる」と委員になり6年目の中澤さんは言います。

活動のヒント・ポイント

地区民児協運営の 活性化に向けて

星槎大学
教授 大溝 茂さん



地区民生委員児童委員協議会（以下、地区民児協）は、「法定民児協」「単位民児協」とも呼ばれ民生委員法に定められた民生委員・児童委員により組織された協議体です。地区民児協は、民生委員・児童委員の日常活動を支えるとともに、地域の福祉の推進を図ることを目的とした様々な取り組みを進めています。

「南足柄市民児協」「寒川町北部地区民児協」の取り組みは、各民生委員・児童委員の想いと活動課題を共有し、地区民児協の運営と活動の活性化を図る創意・工夫に努めている実践例です。

地区民児協の運営と活動へは、民生委員・児童委員全員が担い手として関わることが望まれます。

担当部会や専門委員会等の活用、定例会、学習会（研修会）、他地域組織との連絡担当等、個人的事情

や過度の負担にならないよう配慮した一人一役・担当輪番制の工夫は、運営面での負担の偏りの解消と軽減を考える上で必要です。

日々の各担当地区活動においては、定例会等で、活動課題や問題の共有化と個々の活動を支える協議を図り、訪問調査・相談支援活動等において、担当地区を超えた複数の民生委員・児童委員による協力・協働の取り組みが大切です。

「地域共生社会の実現」に向けて、地域の福祉の推進と住民の生活課題への相談支援活動の充実が求められています。民生委員・児童委員活動への地域住民の理解と周知に向けた情報発信や他の地域活動組織と協働・連携した地域課題や日常生活問題を共に考える地域住民主体の学習交流会等の企画・運営への積極的取り組みが期待されます。

ひとネットワーク
地域と社会資源

知ってほしい「ダブルケア」のじや

一般社団法人ダブルケアサポート
(以下、ダブルケアサポート)の取り組み紹介



「ダブルケア」とは?

「ダブルケア」とは、育児と介護が同時に行われていることを指し、そのような状況にいるダブルケア当事者を「ダブルケアラー」と言います。

当事者は、育児と介護の両方を同時に満たす必要があり、常にどちらかを選択する必要があります。



ダブルケアサポート設立の経緯

ダブルケアサポート代表理事の東さんは、子育て支援のNPOに所属している中で、ダブルケアの実態調査に協力し、ダブルケア当事者が抱える孤立感や精神的負担に寄り添い、ダブルケアに関する講演会や調査研究などを全国的に広めていきたいと考えるようになり、平成28年8月にダブルケアサポートを設立しました。

平成28年4月の政府調査によれば、身体的ケアを主とした育児と介護のダブルケア当事者の人口は25.3万人(女性16.8万人、男性8.5万人)。身体的ケア以外の介護人口を含めると、実態はもっと多いと言われています。
ダブルケアの原因や問題を簡単にまとめた動画です。団体ホームページからご覧いただけます。(平成29年1月) 制作：日韓ダブルケア支援プロジェクト

目線で話を聴くことで、誰にも言えず抱えた想いを吐き出し、心が軽くなるようサポートすること、心がけて活動を続けています。

ダブルケアサポートの活動内容

ダブルケアサポートでは、ダブルケアカフェの運営支援、ダブルケアについての講演会の開催などに取り組んでいます。ダブルケアカフェとは、ダブルケア当事者や支援者が集まる共感の場です。世の中には、不安や悩みを誰にも言

知ることから始めよう

えずにいるダブルケア当事者がいます。そうした想いを抱え込まず、共有できる場が全国に広まるよう、ダブルケアカフェ実施のノウハウの普及やアドバイスも行っています。講演会では、行政や企業、地域の方々などにダブルケアの実態を知ってもらい、理解者を増やすことを目指し、ダブルケアの背景や課題、今後の支援を考えるうえで必要な視点などの情報を提供しています。

ダブルケア支援を全国に広めたい 2月はダブルケア月間



ダブルケアという言葉が概念化され、10年が経ちました。「今一度ダブルケアという言葉を多くの人に知ってもらいたい」と東さん。そこで「ダブルケア理解者を全国に広め、複層的、重層的な支援体制を地域とともにつくっていききたい」という想いから、東さんをはじめとする団体などが集まり、今年から2月をダブルケア月間としました。月間では、ダブルケアに関するイベントやパネル展示など、全国でダブルケアの啓発活動を行い、少しずつ理解の輪が広がっています。

ダブルケア当事者の肩の荷を少しでも軽くし、安らぐことができ、場づくりなどに取り組んでいますが、それだけでは不十分と感じます。晩婚化や高齢出産の増加、少子高齢化などに伴い、増加が予測されるダブルケアは、既存のサービスタッチだけでは解決できない複合的な課題を抱えていることも少なくありません。縦割りの制度ではなく「地域でまるっとサポートができるようになること」を目標に活動を続けられています。

ダブルケアサポートへの取材から、住民の身近な相談相手である私たち委員もダブルケアを知り、地域の理解とサポートの輪を広げること、ダブルケア当事者をよりよい支援へつなげる一助になるのではと思われました。(広報委員)

**一般社団法人
ダブルケアサポート**

連絡・問合せ先
TEL
045-324-5033

メール
wcareyokohama@gmail.com

ホームページ
http://wcaresupport.com/

QRコードはこちら

所在地
横浜市西区南軽井沢8-1-110
NPO法人シャーロックホームズ内

NEWS&インフォメーション

令和3年度課題別集中講座

「災害時の民生委員・児童委員活動」をテーマに、令和3年12月17日から令和4年1月17日までの期間限定で動画視聴(YouTubeまたはDVD)による研修を実施しました。

高崎健康福祉大学教授の金井敏さんを講師にお招きし、全県児連が作成した「災害に備える民生委員・児童委員活動に関する指針」(平成31年3月)に沿って、委員活動をとり巻く災害の状況や災害時の委員活動のあり方についてご講演いただきました。

金井さんは「委員も住民のひとり。まずは自分自身と家族の安全確保を最優先すること」と受講者に熱く語りかけました。

また、湯河原町民児協会長の梅原さん、小田原市社協の村田さんに事例発表をいただきました。梅原さんからは、自治会役員、消防団員、委員で要支援者家庭の近隣や危険地域を徒歩で確認する地域探訪を通して、地域の状況把握や災害時の対応確認などを行っている事例を、村田さんからは、令和元

災害に備える民生委員・児童委員活動10か条

- 第1条 自分自身と家族の安全を最優先に考える
- 第2条 無理のない活動を心がける
- 第3条 地域住民や地域の団体とつながり、協働して取り組む
- 第4条 災害時の活動は日頃の委員活動の延長線上にあることを意識する
- 第5条 民児協の方針を組織として決めておく
- 第6条 名簿の保管方法、更新方法を決めておく
- 第7条 行政と協議し、情報共有のあり方を決めておく
- 第8条 支援が必要な人に、支援が届くように配慮する
- 第9条 孤立を防ぎ、地域の再構築を働きかける
- 第10条 民生委員同士の支え合い、民児協による委員支援を重視する

指針はこちらから
ご覧いただけます。



年の台風19号と令和3年7月豪雨での経験を交えて、災害発生からボランティア活動までの流れや委員に被害のある地域の状況把握の同行を依頼した事例をお話しいただきました。

最後に、金井さんは「委員は、住民のひとりとして、多くの役割は担えないし、担うべきではない。平常時の組織つながりづくりこそが委員の役割です」と力強く呼びかけました。

受講者からは「無理をせず、できる範囲で活動することの大切さを改めて感じた」「自分の地区でも地

域探訪を実践したい。社協の動きを知ることができ、安心した」などの声が聞かれました。

第90回全国民生委員児童委員大会

令和3年10月26日(27日、京都パルスプラザ(京都府京都市)等において全国大会が開催されました。新型コロナウイルスの感染拡大に鑑み、規模縮小により、本会からは、桐生会長のみ参加となりました。

大会1日目は、式辞、表彰等の式典、特別講義、大会宣言の採択等が行われました。2日目は、シンポジウムとして、ルーテル学院学院大学学術顧問・教授の市川一宏さんをコーディネーターに、3人のシンポジストを迎え「地域共生社会の実現と民生委員・児童委員活動」新型コロナウイルス禍をふまえて考える」をテーマに実施されました。

2日目に予定されていた活動交流集会【令和4年3月25日まで】、式典及びシンポジウム【令和4年3月31日まで】は、期間限定で動画配信されています。

動画の閲覧方法は市町村民児協にご案内しております。



編集雑感

コロナ禍により、委員活動が制約され、どのように活動していくか迷っています。南足柄市民児協の目安箱の取材を通して、質問や意見を言える環境づくりが大切だと思いました。

私の住んでいる箱根町大平台地区は高齢化と少子化が進み、私ともう一人の委員2名で211世帯を担当しています。地域の困りごとを解消するために平成29年4月、地区社協で「あじさいの会」を発足し、定期的な食料配布を女性会、民生委員で協力して行っています。



食糧配布の準備をする様子

食糧配布の際は、高齢者の安否確認と困りごと相談も行っています。コロナ禍で行事が中止になり、顔を合わせる機会も少ない状況での2ヶ月に一度の食糧配布は「良く来てくれたね」と非常に喜ばれます。油断できない状況ですが、活動を継続していきたいです。

(広報委員 若林宏光)



通信員だより

小田原市

おそれすぎず、侮らさず

通信員 石塚 ミドリ

一斉改選後、程なく始まったコロナ禍での生活。これまでの行事がごとごとく中止になる中で、今、民生委員として出来ること、やるべきことは何かを模索しました。

小田原市橋北地区民児協では、新しく民生委員になった人も多いことから、キャラバン・メイトの資格を持つ副会長を講師に、認知症についての学習会をしました。具体例を挙げながらの研修はより分かりやすかったです。

また、今までのような高齢者訪問がはばかれる中、寒中見舞いや誕生日の葉書きを書きました。なかには、「民生委員の方に声をかけて頂けるとほっとします」という返事を寄せて頂いた方もありました。

こつこつ時だからこそ「繋がりを大切にしたい」という高齢者や委員の声を受けて、例年通り、一人暮らしの方へ、小学生の手紙とともに障がい者施設で作ったお菓子を届けたところ、大変喜ばれました。小学生には、委員12人で手作りした「タオルうさぎ」をプレゼントしました。まだまだ、以前の様な形の活動は出来ませんが、やれることを探して活動していきたいと思えます。



繋がりを大切に、活動を続けます



可愛い「タオルうさぎ」を届けました

座間市

我が地区の活動強化方策について

通信員 清水 春男

私たち第四地区民児協では、全委員で協議し、活動強化方策の一環として「ヒロウンジャー」と名付た美化活動(ゴミ拾い活動)を行っています。小中学校の下校時に実施している安全パトロール(月一回)にあわせて、ゴミばさみとレジ袋を携行して、歩道や公園等に落ちているゴミを拾っています。

市民児協の名の付いたベストを着用して、地域の美化と民生委員の存在をアピールすることが目的です。

活動した委員の感想は「地域がきれいになるし、気持ちもスッキリします」等と高評価です。

地域の人たちの反応は現時点で特筆すべき反響はありませんが、着実に地域の中に、民生委員の存在が浸透していく手応えを感じます。その理由は、通り過ぎる人の反応は微妙ですが、大人も子どもたちもゴミを拾っている私たちの行動に注目している視線を感じ取ることができているからです。

「ヒロウンジャー」は昨年三月に開始したばかりですが、この活動を継続して行くことにより私たち民生委員が地域の皆様全ての身近な存在であることを知って頂き、何でも気軽に相談して頂けるような存在になると確信しています。



ヒロウンジャー参上!

二宮町

こんな時だからこそ

通信員 山影 由美子

コロナ禍での活動は、様々な制限があることから思うように活動することができず、不安を抱えながら過ごしていました。

そんな中、二宮町民児協では役員が中心となり、コロナ禍において他の委員がどの様に活動しているかを共有するためにアンケートを実施しました。アンケートの結果を見て「悩んでいたのは自分だけではなかったんだ」と心が軽くなり、他の委員の考えやアイデアを参考にすることで自分の活動に活かすことができました。また、昨年は民生委員活動のPRに力を入れようと、町内全域にPRチラシを民生委員の手でポスティングしたほか、町内の小中学生の皆さんに学校を通じてチラシを配布しました。

コロナによって様々なことが変化してきましたが、それは民生委員活動にも言えることだと思います。

「こんな時だからこそ」私達にはどんなことができるかを考え、試行錯誤しながら活動していくことが大切なのではないでしょうか。今後もしばらくは不自由な状況が続くと思いますが、できることから少しずつ活動していきたいと思えます。



チラシでPRします!

ホームページをご活用ください!

★県民児協ホームページでは、民生委員・児童委員制度や活動に関する参考資料などを掲載しています。委員専用ページをご覧いただくためには、次のログイン情報をご入力ください。

